

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
成人看護援助論Ⅲ	NSP33_003	必修	1	3	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
小林 美雪 他	407	m.kobayashi	授業終了時、水曜日 16:00～17:00		
授業の目的・概要	成人看護援助論Ⅰ・Ⅱで取り上げた健康障害の対象者の事例についての一連の看護過程の展開方法を修得する。成人期の成長発達の特徴及び役割や健康問題など理解したうえで、身体的・心理的・社会的側面の情報を統合したアセスメントにより対象を全人的に捉える思考過程を学び、臨地実習での看護実践につなげる。				
授業形式・方法	☒ 対面授業 ☒ 遠隔授業 (双方向型) ☒ 遠隔授業 (自主学習) ☒ 講義 ☒ 演習 ☐ 実習 ☐ 実技 ☐ PBL ☒ グループワーク ☐ その他 () ☐ 反転授業 ☒ フレックスゼッション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ ディスカッション・ディベート ☐ 実習・フィールドワーク				
学習上の助言	成人看護援助論Ⅲは、3 年次後期からの成人看護学実習につながる重要な科目である。授業内で実習を想定した事例を示すので、積極的に授業に臨むこと。				
教科書	2年次看護過程演習で使用した以下の教科書を使用する。 ・看護の基本となるもの /著:Vヘンダーソン /日本看護協会出版会 /2018 ・系統看護学講座専門分野Ⅰ 基礎看護学 [2] 基礎看護技術Ⅰ /医学書院 /2019 (2冊指定)				
参考書	授業内で示す。				
外部教材	特になし				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	看護における看護過程の持つ意味が説明できる。			NS(2)(3)	
②	ヘンダーソン看護論の重要概念が説明できる。			NS(2)(3)	
③	ヘンダーソン看護論による看護過程の展開方法が説明できる。			NS(2)(3)	
④	ヘンダーソン看護論により事例の情報整理・アセスメントが記述できる。			NS(2)(3)	
⑤	アセスメントから看護関連図および看護上の問題を記述できる			NS(2)(3)	
⑥	事例の看護上の問題の統合を行い、看護計画の立案ができる。			NS(2)(3)	
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	本科目のガイダンス/問題解決技法としての看護過程について復習とヘンダーソン看護論の重要概念を再確認する。(その1)	講義	事前課題：2年次の看護過程演習の学習内容を振り返る。		1
2	問題解決技法としての看護過程について復習とヘンダーソン看護論の重要概念を再確認する。(その2) (事例①慢性期事例の提示)	講義	事前課題：1回目の授業を復習して授業に臨む。		1
3	ヘンダーソン看護論による看護過程の展開① 事例1：対象理解 (対象理解に必要な知識の学習)	講義	事例展開に必要な参考文献を検索する。		1
4	ヘンダーソン看護論による看護過程の展開② 事例1：情報整理・アセスメント	講義	事例展開に必要な参考文献を検索する。		1
5	ヘンダーソン看護論による看護過程の展開③ 事例1：情報整理・アセスメントの続き	講義 演習	事例展開に必要な参考文献を検索する。		1
6	ヘンダーソン看護論による看護過程の展開④ 事例1：アセスメントの修正	講義 演習	事例展開に必要な参考文献を検索する。		1
7	ヘンダーソン看護論による看護過程の展開⑤ 事例1：看護上の問題の抽出	講義 演習	事例展開に必要な参考文献を検索する。		1
8	ヘンダーソン看護論による看護過程の展開⑥ 事例1：看護上の問題の抽出、看護計画立案	講義 演習	事例展開に必要な参考文献を検索する。		1
9	ヘンダーソン看護論による看護過程の展開⑦ 事例1：看護関連図の作成、発表会準備	講義 GW	事例展開に必要な参考文献を検索する。発表会の準備を行う。		1
10	ヘンダーソン看護論による看護過程の展開⑧ 事例1 発表会 事例2：対象理解 (対象理解に必要な知識の学習)	講義 GW	事例展開に必要な参考文献を検索する。		1
11	ヘンダーソン看護論による看護過程の展開⑨ 事例1：まとめ (事例2 急性期事例の提示・情報整理)	講義 演習	事例展開に必要な参考文献を検索する。		1
12	ヘンダーソン看護論による看護過程の展開⑩ 事例2：情報整理・アセスメント	講義 演習	事例展開に必要な参考文献を検索する。		1

13	ヘンダーソン看護論による看護過程の展開⑪ 事例 2：アセスメントの修正	講義 演習	事例展開に必要な参考文献を検索する。	1			
14	ヘンダーソン看護論による看護過程の展開⑫ 事例 2：看護上の問題の抽出 看護計画立案の続き、関連図	講義 演習	事例展開に必要な参考文献を検索する。	1			
15	ヘンダーソン看護論による看護過程の展開⑬ 事例 2：看護計画立案、成人看護学実習での過程展開 の実際の展開方法等について/看護の継続について	講義 演習	事例展開に必要な参考文献を検索する。授業のまとめを行う。	1			
試	達成度評価、評価のポイント参照						
達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	70	10	0	20	100
総合力指標	知識・技術力	0	30	0	0	0	30
	思考・推論・創造する力	0	10	0	0	0	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	5	0	0	5
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	5	0	10	15
	問題を発見・解決する力	0	30	0	0	10	40
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
レポート	①	✓	事例 1、事例 2 について評価する。				提出された事例について授業中に助言する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥	✓					
成果発表	①	✓	成果発表への取り組み状況について評価する。				発表時に助言する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥	✓					
その他	①	✓	授業に臨む姿勢を評価する。				授業中、適宜助言する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥	✓					
備 考							
他 担 当 教 員	吉岡睦世、堀口まり子						
教 員 の 実 務 経 験	科目責任者は看護師として 23 年の臨床経験を有しており、臨床での場面を想定した看護過程の展開を効果的に学べる環境である。						
実践的授業の内容	実務経験のある教員の指導のもと、成人看護学の看護過程の基本的について理解を深める。 教員の経験からの実践事例を取り上げ、教科書と比較しながら学習する。						
そ の 他	・感染症の状況などの社会情勢により再度シラバスの変更があることも考えられるが、その際は随時、お知らせする。						